
石巻地区カーボンクレジット創出プロジェクトのご説明



Human * IT

2024年5月29日
石巻地区森林組合
株式会社日立システムズ
EverImpact

この資料は、宮城県石巻地区森林組合、株式会社日立システムズ、EverImpact社の3者にて実施する「石巻地区カーボンクレジット創出プロジェクト」について、その内容をプロジェクト関係者だけではなく、地域の皆さまにも広く周知するための資料となります。また、本プロジェクトの問い合わせ窓口についてご案内するものとなります。

石巻地区森林組合の管轄する森林において、国際的なカーボンのクレジット認証機関「Verra」へ森林由来のカーボンのクレジットを申請し、クレジット発行を行うプロジェクトです。

01 プロジェクト概要

- ✓ 対象の高密集・高齢化している人工林の管理の改善を行いながら、生物多様性、持続可能な森林をめざした森林管理を実施
- ✓ 国際的なボランタリークレジット機関Verra社に対し、VCS *1カーボンのクレジットの申請を行う

02 対象エリア

- ✓ 石巻市河北地区の約900haから着手し、将来的に石巻地区全域を候補地として対象を拡大予定

03 プロジェクト実施者

- ✓ 石巻地区森林組合、株式会社日立システムズ、EverImpactの3者にて実施

04 プロジェクト期間

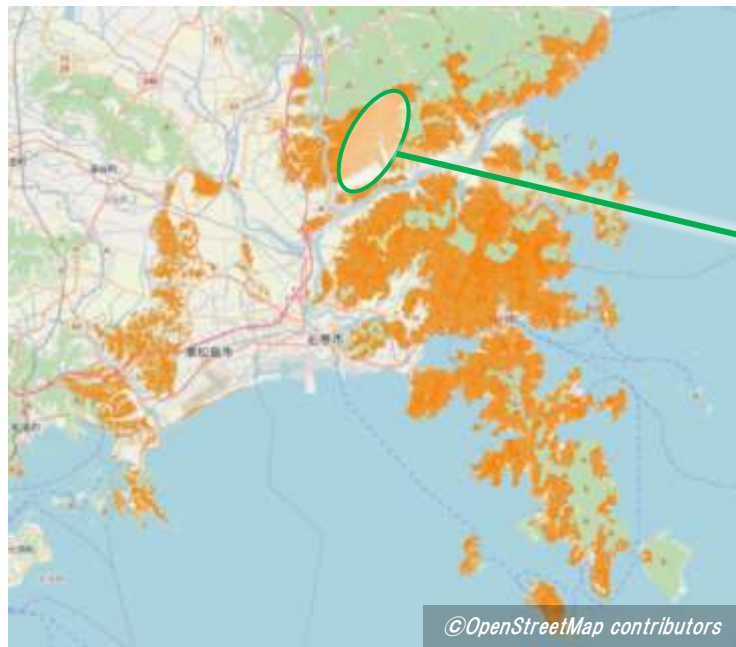
- ✓ 2021年から2060年の40年間（予定）

05 プロジェクトの目的

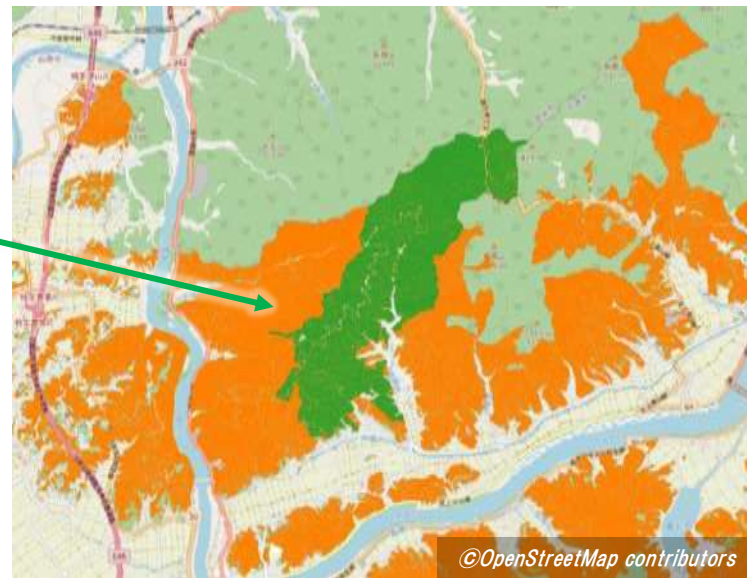
- ✓ 日本の森林によるVCSカーボンのクレジット創出し、持続可能な森づくりの実現

*1…Verified Carbon Standard

石巻市河北地区における約900haを対象としてプロジェクトを開始し、段階的に石巻地区全域を対象として拡大予定



石巻地区全域



当初対象エリア
河北地区(約900ha)

- ✓ カーボנקレジットとは削減・吸収されたCO2量を売買し、企業などの排出量と相殺する手段



カーボנקレジットはCO2排出を削減または吸収するプロジェクトを実施し、その結果として生じた**排出削減量**や**吸収増加量**に対して創出されます。
これらのクレジットは、企業、自治体、個人などが自らのCO2排出量と相殺するために購入され、その**資金はプロジェクトの実行に活用**されます。

✓ 政府が主導するコンプライアンスクレジットと民間主導のボランタリークレジットがある

コンプライアンス クレジット (政府主導)	EU-ETS (欧州排出権取引制度) J-クレジット など	国・地域が定義する排出削減義務や排出量報告制度等の規制・制度に基づき活用されており、自国の排出削減貢献へ計上される
ボランタリークレジット (民間主導)	VCS (Verra) GS(Gold Standard) など	企業の自主的なオフセットを目的に活用されており、CORSIAや一部の国では炭素税など公的な制度への活用も可能

主要なボランタリークレジット制度	設立	概要	対象国
VCS (Verified Carbon Standard) ※認定機関名がVerra	アメリカ/ 2005年	民間企業が参加する団体が設立した認証基準・制度。森林や土地利用に関連するプロジェクト（REDD+を含む）や湿地保全による排出削減プロジェクトなど多様なプロジェクトが実施。	全世界
GS (Gold Standard)	スイス/ 2003年	国際的な環境 NGOが設立した認証基準・制度。GS独自のクレジット発行に加えて、地元共同体への貢献などの付随的な便益を有すると見なされたCDMプロジェクトの認証も実施。	全世界
CAR (Climate Action Reserve)	アメリカ/ 2001年	California Climate Action Registryを起源に持つ認証基準・制度。	アメリカ、カナダ、メキシコ
ACR (American Carbon Registry)	アメリカ/ 1996年	NPO 法人である Winrock International が設立した世界初の民間クレジット認証基準・制度。	アメリカ

VCSカーボンプレジットとは

- ✓ 2005年、米国にて民間企業団体により設立された機関「Verra」が発行するカーボンプレジット
- ✓ 認証基準「Verified Carbon Standard(VCS)」に基づいて発行

■ VCSカーボンプレジット特徴

- 世界でボランタリークレジットの**発行量シェアトップ**であり、ボランタリークレジット主要認証機関として市場をけん引
- 国際民間航空部門(CORSIA^{*1})や米国、コロンビア、南アフリカでは、炭素税など**公的制度でのVerraクレジットの活用が認められている**
- 森林や土地利用、湿地保全による排出削減プロジェクトなど、**多様な方法論によるプロジェクトに対応**
- 衛星などのリモートセンシングによるCO2量測定が認められており、広大な土地での測定が可能
- クレジットの過剰発行(グリーンウォッシュ等)を防ぐため、**方法論は定期的に改訂・見直し**が行われており、クレジット品質が維持されている

主要なボランタリークレジットの発行量推移

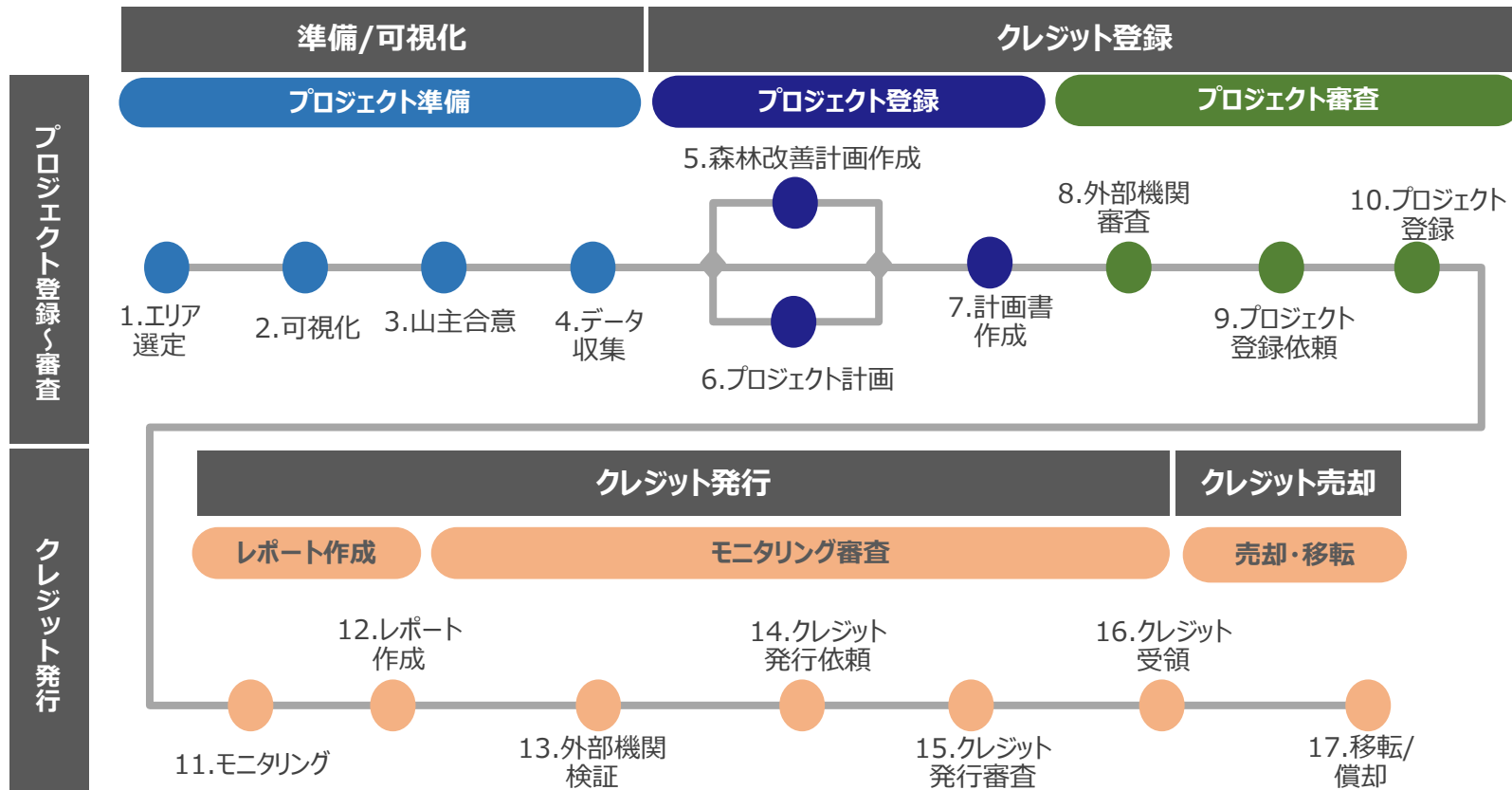


VerraのVCSによる発行量が大半を占めている。

出典：経産省「カーボンプレジット・レポートを踏まえた政策動向」

^{*1}…CORSIA:国際航空のオフセットスキーム。国際線を運航する航空会社に対して算出されたオフセット義務量について、航空以外の事業からCO2クレジットを購入することを義務付けている

VCSカーボンプレジット創出の流れ



- ✓ 森林管理の改善によって生産性の高い多様な森林に転換し、炭素隔離量を高めることで、SDGs *1 目標「13.気候変動」に加え、「8.経済成長と雇用」および「15.陸上資源」に貢献します。

01 炭素隔離向上

- ✓ 高密度・高齢化している人工林の間伐による密度改善、広葉樹への置き換えによる針広混交林化をめざします。
[方法論VM0045：動的ベースライン活用による森林管理改善]
- ✓ 定期的な立木調査（サンプルプロット調査）を実施します。



「13.気候変動」

02 雇用の創出

- ✓ 管理面積拡大による労働者の増加により、経済成長へ貢献します。



「8. 経済成長と雇用」

03 生物多様性向上

- ✓ 樹木種による森林の多様化を促進し、地域の生物の多様化と生息地の保全に貢献します。



「15. 陸上資源」

*1…Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称

プロジェクト活動内容(2/2)

- ✓ 段階的な間伐の推進により森林の成長を促し、CO2吸収能力の高い森林づくりを行います。
- ✓ 天然更新や植林による森林の若返りや、針広混交林等の生物多様性を確保し、持続可能な森林をめざします。



01 主な地域関係者

対象エリア内の森林所有者、周辺住民の方々
プロジェクト実施者 3 者（石巻地区森林組合、日立システムズ、EverImpact）

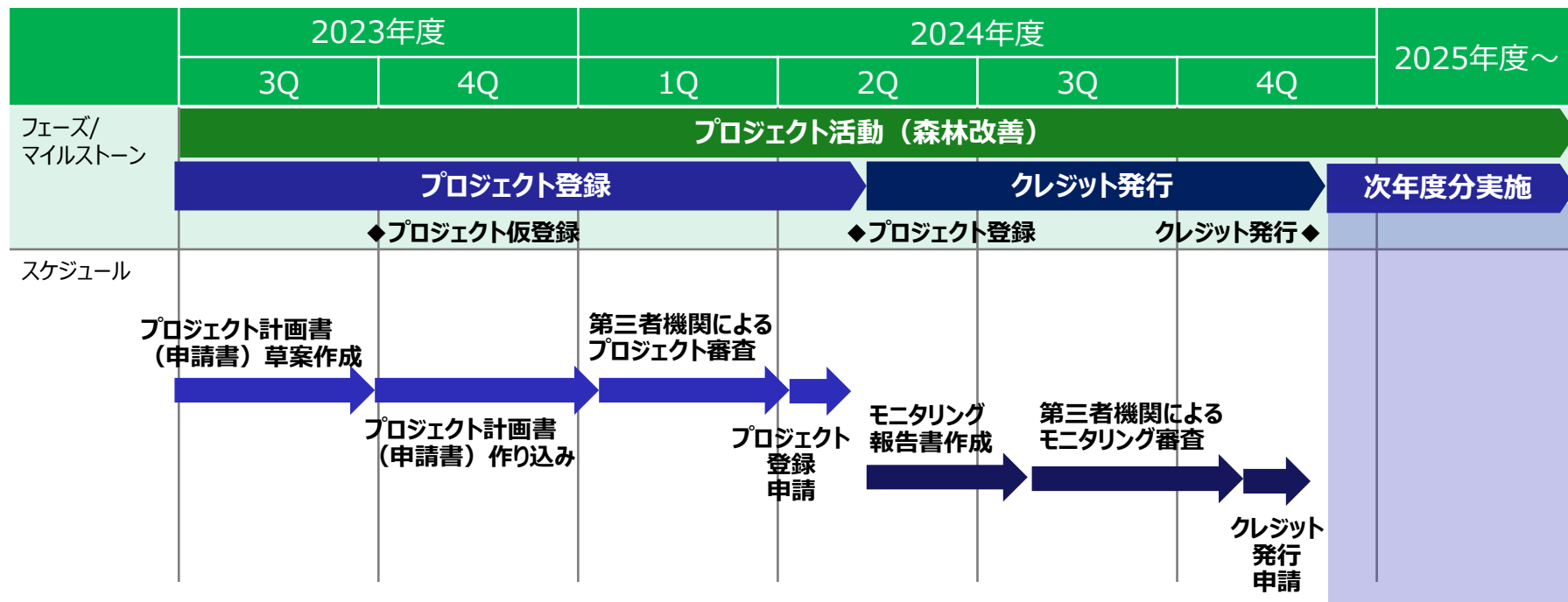
02 クレジット収益を活用した持続可能な森づくり

本プロジェクトで創出されたカーボンクレジットの利益は、プロジェクト実施者である 3 者（石巻地区森林組合、日立システムズ、EverImpact）にて分配されます。
脱炭素社会への移行に貢献するため、日立システムズが 3 者を代表してカーボンクレジットを販売します。
その利益の大半は石巻地区森林組合へ還元され、さらなる森林改善および管理に活用することにより、持続可能な森づくりを行います。

03 森林管理の改善におけるリスク対策

高密度・高齢化している人工林の管理方法の改善を行いますが、従来の手法から逸脱する施業はありません。
通常施業におけるリスク管理（装備や機械による作業者の安全確保、定期的なメンテナンス、廃棄物処理等）を継続して実行します。

2024年度に初回クレジット発行の予定で進めており、初回クレジット発行後はプロジェクト2年目を進めていく計画



01

お電話/郵送

石巻地区森林組合

TEL : 0225-93-1711
〒986-0005 宮城県石巻市大瓜字棚橋下待井65-1

株式会社日立システムズ

TEL : 03-5435-7777
〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎ウエストタワー13F
金融グリーントランスフォーメーション事業企画部

02

メール

石巻地区カーボンクレジット創出プロジェクト事務局

contact.carboncredit.eh@hitachi-systems.com

03

問い合わせフォーム

以下よりご入力ください。

<https://www.hitachi-systems.com/form/contactus.html>

※匿名をご希望の方は、郵送またはメールにてお問い合わせください

HITACHI
Inspire the Next 